

## 会費納入先

年額会費 2,000円

■郵便振替  
(口座番号)  
00110-4-151150  
(加入者)  
東京天草郷友会



## 広げよう 天草の 仲間の輪

# あまくさ

## 東京天草郷友会会報

2013年9月10日

発行所 東京天草郷友会  
発行人 藤川 博祥  
編 集 広報部  
事務局 〒223-0056  
横浜市港北区新吉田町5780  
TEL.045-620-0426  
FAX.045-593-3018  
E-Mail:gouyukai@jade.bforth.com

# 「平成25年度東京天草郷友会総会・懇親会開催」!

祈・東北の復興! 支え合おう東京天草郷友会!



## 目次

- 02 会長挨拶
- 03~05 平成25年度定期総会・懇親会開催
- 06~07 第14回「天草ふるさと対抗ゴルフ大会
- 08 トピックス …先人を訪ねて…
- 09 健康コーナー「骨の生活習慣病」バイ・バーイ
- 10~11 「夏休みファミリー大会」
- 12~13 ザ・天草ヒストリー⑤
- 14 俳句と天草の仲間たち
- 15 事業部だより・女性部だより

- 16 天草だより①「天草の現況」  
天草だより②「ふるさと天草」にUターンして
- 17 事務局だより/  
平成25年7月31日現在 会費納入者一覧
- 18 趣味と私  
東京天草郷友会「ホームページの今」
- 19 平成25年度「東京天草郷友会役員」一覧  
天草ふるさと地域連絡協議会の連絡先
- 20 広報部だより  
あとがき











第14回

# 「天草ふるさと対抗ゴルフ大会」開催!

13回大会までの団体成績

| 第1回                      | 第2回                      | 第3回                         | 第4回                      | 第5回                      | 第6回                      | 第7回                      | 第8回                      | 第9回                      | 第10回                     | 第11回                     | 第12回                     | 第13回                     | 第14回                     |
|--------------------------|--------------------------|-----------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 緑野カントリー<br>優勝            | 東千葉カントリー<br>準優勝          | ザ・ブリッジ<br>新和町               | 緑野クラブ<br>新和町             | 山武グリーン<br>カントリー倶楽部       |
| 第3位<br>河浦町<br>苔北町<br>新和町 | 第3位<br>河浦町<br>新和町<br>五和町 | 第3位<br>河浦町<br>新和町<br>ゲストチーム | 第3位<br>河浦町<br>苔北町<br>本渡町 | 第3位<br>河浦町<br>本渡町<br>牛深町 | 第3位<br>河浦町<br>本渡町<br>牛深町 | 第3位<br>牛深町<br>河浦町<br>有明町 | 第3位<br>本渡町<br>河浦町<br>牛深町 | 第3位<br>新和町<br>五和町<br>牛深町 | 第3位<br>新和町<br>五和町<br>河浦町 | 第3位<br>新和町<br>五和町<br>有明町 | 第3位<br>五和町<br>新和町<br>有明町 | 第3位<br>新和町<br>新和町<br>松島町 | 第3位<br>本渡市<br>河浦町<br>有明町 |

## 第14回 天草ふるさと対抗ゴルフ大会総合成績

会場／千葉県 山武グリーンカントリー倶楽部

### 団体戦

|           |            |            |            |            |              |            |            |            |             |             |
|-----------|------------|------------|------------|------------|--------------|------------|------------|------------|-------------|-------------|
| 優勝 河浦町チーム | 準優勝 新和町チーム | 第3位 河浦町チーム | 第4位 有明町チーム | 第5位 新和町チーム | 第6位 松島・西本・苔北 | 御所浦各町合同チーム | 第7位 天草町チーム | 第8位 五和町チーム | 第9位 龍ヶ岳町チーム | 第10位 牛深市チーム |
|-----------|------------|------------|------------|------------|--------------|------------|------------|------------|-------------|-------------|

※旧市町対抗戦のため、規定により準優勝河浦町チーム3位有明町チーム

### 個人の部

|              |
|--------------|
| 優勝 竹馬久雄(柏木)  |
| 準優勝 織田 堅(本渡) |
| 第3位 清水利人(新和) |

### レディースの部

|              |
|--------------|
| 優勝 山下斐紗子(河浦) |
| 準優勝 柴田茂子(有明) |
| 第3位 小川廣美(有明) |

### シニアの部

|               |
|---------------|
| 優勝 奥原文代(ゲスト)  |
| 準優勝 斎藤正樹(ゲスト) |
| 第3位 山田信良(本渡)  |

### 「天草ふるさと対抗ゴルフ大会」への協賛者の方々

| 金一封         | 協賛品            |
|-------------|----------------|
| 寺平末廣様(河浦町)  | 園田峰生様(本渡市)     |
| 藤川博祥様(新和町)  | 小崎智富様(有明町)     |
| 園田峰生様(本渡市)  | 松崎武久様(苔北町)     |
| 長谷場亮祐様(牛深市) | 堺 亜流様(龍ヶ岳町)    |
| 新日出雄様(本渡市)  | 久保祐一郎様(龍ヶ岳町)   |
| 鳥羽瀬建男様(五和町) | 村田文裕様(御所浦町)    |
| 柴田治美様(苔北町)  | 本田治幸様(姫戸町)     |
| 篠田逸雄様(ゲスト)  | 田原 昭様(本渡市)     |
|             | (株)榎本様         |
|             | 山武グリーンカントリー倶楽部 |

ご協賛いただきありがとうございました。  
(各地域世話人一同)

若男女のご参加を期待いたします。  
今大会にも、多くの方から協賛金・協賛品を  
ご提供頂き、有難うございました。  
また今大会に向け、2月からの打ち合わせ等、  
各種準備をされた各地域の世話人の方々ご苦  
労さまでした。(輝)

個人優勝は、竹馬久雄(柏木町)さんが初優勝。名譽あるベスグロは村本幸明(松島町)さん、なんとワンオーバーの「73」と驚異的スコアで獲得された。

特記すべきは、70歳以上の参加者の活躍が目立ち、総合成績の上位をシニアで独占した。加えてグランドシニア(80歳以上)にもお三方が参加され、特別表彰で記念品を贈呈、会場の喝采を浴びられた。来年は、より多くの老若男女のご参加を期待いたします。

過去10回大会まで、優勝3回2位4回の実力チーム河浦町復活も、惜しくも準優勝!

本渡市 6年ぶりの  
栄冠に輝く!!

月6日(金)です。単独チーム編成が叶わず合  
同チームによる参加地域の増加傾向が懸念さ  
れる中、是非事前に日程調整、多数の方のご  
参加みて、今年に増して賑やかな大会にし  
たいものです。

当日の成績は、参加地域一のゴルファー集  
団?を誇る本渡市が6年ぶりの優勝、5連勝  
中だつた新和町の6連覇の野望?を碎いた。  
準優勝は10回大会まで3位以内が8回の往年  
の覇者、河浦町が復活したが、優勝は来年以  
降に持ち越すこととなつた。

残暑見舞い申し上げます。

## ビルド高層を動かす2つの力

ますます進む高度情報化社会、ビルのインテリジェント化。21世紀に向けてより人間性、きめ細やかさを大切にしたい。クリーニング部門とメンテナンス部門が両軸となって、ビル高層のビジネスを発展させています。

### クリーニング部門——私達の技術は、基本に忠実です。

超高層ビルの汚れのメカニズムを分析し、ビルに優しいクリーニングを。  
現在、超高層ビル23棟受注。業界No.1を目指す。

### メンテナンス部門——次代のモダニゼーションを目指しています。

ビルディングドクター(建築外壁診断技術者)による外壁調査や補修工事を実施。  
ビル美観を保ち、耐用年数を延ばす次代モダニゼーションを履行中。

株式会社 ビルド高層

代表取締役

西向 敦(牛深出身)

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3丁目8-12

TEL.03-5485-6608 FAX.03-5485-6604

社員募集:30歳以下男性



睡蓮の花が綺麗な「OUT 6番ショートホール」  
(ワンオンしない人は罰金払った、魔のホール)



“よかスイング”“よかスイング”  
グリップよし！スパット目標よし！  
腰の回転よし！(調子良さそうだ？)



昨年の荒天に一年間悩まされました。  
今日の天気は最高でしたが、「スコアはどうがん  
だったですか」と寺平大会会長(河浦)挨拶



エイジシートの岩崎さん指導で作戦会議の  
五和チーム！フェースは返しちゃ駄目、  
カップに平行に「な！」



「いいね！」「いいね！」  
パターって易(優)しいのよ！  
6mだって、ほーらネ！



「ゴルフはパターばい！」「はい」「耳と耳の間ば使わん  
ば！」「はい」最小パター賞二年連続獲得の柴田(有明)  
さんから薰陶を頂く真剣な眼差？「だけどなー」



平成25年度  
表彰式・懇親会会場



「アーバ」  
…このOBが痛かっぱなー…  
(大会で一番厳しいアテスト)



天草人ゴルファーは  
マナーが一番  
(礼儀に始まり礼儀で終わる)



藤川会長から  
個人優勝の竹馬久雄(柄本)さんへ  
「ん万円」のらん鉢



寺平大会会長から団体優勝の本渡チーム  
(松永さん、新さん)へ  
優勝カップの贈呈



懇親会になると何故か元気な?  
藤川東京天草郷友会会长「きゅうは86で回った  
とです」…ほんとかよー?(ホントデシタ)



6年ぶりの優勝をかみしめて!!(本渡チーム)  
ハーヤー上品に！  
(シャッター10秒後は、全員破顔一笑でした)



グランドシニアのお三方へ  
特別表彰  
来年も参加してください



当日賞の有馬浩美(本渡)さんへ  
…あらー丁度来週買ひ換えよう?と  
思ってましたのよ！

## パター二態

# トピックス 先人を訪ねて！

去る、6月15日(土)吉日、自称某歴男?の発案で有志による、「東京天草郷友会創始者のひとりと言われる、竹添(進一郎)井井先生(たけぞえせいせい)の文学碑&お墓&松榮亭を巡るツアーバー?を実施した。

「東京天草郷友会が何時発足したか定かな記録は見当たらない。只、明治44年頃神田淡路町の「宝亭」とゆう西洋料理店で「天草人の集いが開催されていた。その会は竹添進一郎(井井)と中井勵作が中心となつており、東京天草郷友会の始まりである。(同会開催に竹添氏から、病気で欠席の連絡を中井氏へ出した手紙が残つている)(会報1号編集者島一春、元会長太田至西氏著一部引用)

まず一行は、地下鉄乃木坂駅下車、運よく乃木神社の宮司さんより、竹添井井の乃木希典將軍に関する漢詩碑の説明を拝聴し、まさに感銘・感激に浸つた。乃木神社参拝は初めてではないが、天草の偉人がこんな身近におられたとは!一同茫然自失!

お墓は小石川の「護国寺」にあり、大靈園の中、漸く探しながら立派な墓石を確認した(写真参照)、墓前に跪き藤川会長以下「思い思いの想い!」を込めて合掌!合掌しながら藤川会長の口癖、「会の継承・継続」をがふと頭を過つた。さて最後は、不謹慎ではあるが本日一番楽しみにしていた食事処。自称某歴男は、ちゃんと事前に調査している。当時の洋食店「宝亭」の流れを

くむお店は、悲喜交々の歴史に流されつつ現在は、神田「松榮亭」(1907年創業、現在3代目店主堀口さん、夏目漱石、池上正太郎等文人が愛した美味)であるらしい。

竹添先生も夏目漱石先生も食べたであろう!昔ながらのレシピで「洋風かきあげ」「オムライスと旧東京の味を頬張つた。(勿論現代のビールも少し?)

天草の先達は、古くから島を出て多方でご活躍である。関東でも多くの方が身近でご活躍だつたかも知れない。「東京天草郷友会」でも是非機会を見て、「先人の足跡を訪ねるツアーバー? etc 「一デネートしたいものである。(隆&輝)

## 竹添 井井

上天草出身明治時代の漢学者。熊本県(現)上天草市大矢野町上馬場の医師・竹添筈園と美加の一子として、天保13年1842年に出生。幼少より学を好み3歳にして経書を朗読し神童の誉れ高く、15歳で熊本に出て木下韓村塾に入門、天才の学才は冴えた。

細川藩に召し抱えられ、江戸で勝海舟等と親交があつた。海舟の斡旋で、清国特命全権公使森有礼の隨行員、明治15年(1882)には朝鮮の京城公使。明治26年(1893)から明治28年(1895)まで帝大(東京大学)教授を3年間務めた。次女は柔道家嘉納治五郎と結婚。竹添井々は1917年3月31日76歳で生涯を全うし從三位勲三等を贈られた。(お墓は、護国寺)中国大陸紀行文「棧雲狭雨日記」、中国歴史名書「左氏会鑑」などを著す。陸軍大将、乃木希典に関する漢詩碑が乃木神社に建立。(竹添井井HP)

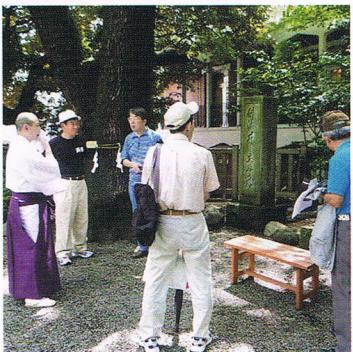
上天草市(生地大矢野町)には、竹添井々の功績を称えた頌徳碑が建立されています。



「松榮亭」



神田「松榮亭」玄関

東京天草郷友会の祖(初代会長?)竹添進一郎(井井)氏の墓前で  
跪く第17代藤川博祥会長  
(護国寺墓前で)竹添進一郎(井井)の乃木希典將軍に関する漢詩碑の説明を宮司から  
拝聴する参加会員  
(乃木神社境内にて)

あまくさ

## 野田 としこ

(本渡出身)



〒144-0051 大田区西蒲田七丁目八番七号  
蒲田セントビル六F  
電話〇三(571-1)三一五六  
(JR蒲田駅西口下車アーケード街)

## クラブ 赤 石

(本渡出身)



〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目八番七号  
銀座第3ソフレドビル5F  
電話〇三(3573-3)三九四四番  
飲食代(ひとり)5,000円~6,000円

## 中原 栄子

(牛深出身)



〒107-0052 東京都港区赤坂四丁目二番二号  
ディアシティ赤坂ツツ木館B1  
(ツツ木通りTBS近く)  
電話〇三(3571-1)六六一四  
電話〇三(3585-7739)

## 長谷川 尚子

(天草町出身)

力士の真剣な息づかいを  
近くで感じてみませんか  
☆椅子席◇机席を安く手配致します。  
国技館案内所十五番

## FIVE STAR 久保 祐一郎

(龍ヶ岳出身)

★★★★★  
ファイブスター  
〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目八番二号  
携帯電話〇三(3571-1)六六一四  
電話〇三(3571-1)六六一四

〒130-0021 墨田区練二十一丁目  
電話〇三(3263-1)六九〇

残暑見舞い申し上げます。

# さあー、カルシウムを摂取し、適度な運動を!

骨粗鬆症って?

「骨の生活習慣病」  
バイ・バーイ!

医学博士 志茂 新

年をとればとるほど腰が曲がってきて身長も低くなる。原因は背骨がつぶれているからである。医学用語では脊椎の圧迫骨折という。特に腰の骨である腰椎は体重の約半分の負荷がかかり、腰椎の前方に荷重がかかり、前方がつぶれるため、背中が前かがみになる仕組みだ。脊椎の圧迫骨折になる原因は、加齢により骨粗鬆症という骨がスカスカな状態になるからである。人間が生きていくためには、

血液中のカルシウムを骨から溶かして調節する。女性ホルモンは骨を溶かす働きを抑える役割をするが加齢や閉経により女性ホルモンが減少したり、過激なダイエットにより栄養摂取量が減ったり女性ホルモンが枯渇したりすることでも骨粗鬆症になるというわけだ。

では、なぜ骨粗鬆症を治療しないといけないかというと、加齢に伴い脊椎の圧迫骨折だけでなく、転倒により足の付け根の大脛骨頸部骨折をすることが多く、大腿骨

頸部骨折は基本的には早急に手術しなければ、寝たきりの生活を強いられることになる。要するに人間は年をとると軽びやすくなり、すぐに足の付け根が折れて緊急救術になるのを防ぐために、骨粗鬆症を治療するのである。

骨粗鬆症の治療の適応は、大腿骨骨折や腰椎圧迫骨折の既往歴があつたり、骨密度の若年成人平均値(YAM)の値が70%以下の人は薬物療法の適応となる。

ちなみに薬物療法に関して言うと、カルシウム製剤や女性ホルモン剤というのは、骨密度の上昇には多少影響があるが、骨折を減らす効果はない。骨粗鬆症の予防の第一選択薬にはビスホスホネート製剤が推奨されている。ビスホスホネート製剤は毎日内服するタイプがあり、早朝空腹時に内服し、30分は横になつてはいけないため、非常に面倒で評判が悪かった。そこで現在でも1週間製剤というのが一般的になつておらず、内服しづ



志茂 新

らさも週に一回ならいいだろうということだったが、それでも約半数が内服を中断するような状況が続いている。しかし最近は、1ヶ月製剤というのが発売され内服がより楽になっている。ところが、2013年7月から半年に一回の投与間隔の『プラリア』というビスホスホネート製剤の皮下注射剤が販売された。この『プラリア』により、面倒であつた空腹時の内服も必要なく、半年に1回の通院で済むといった利点をもたらしている。このように骨粗鬆症の治療もどんどん楽になつてはきているが、実は骨粗鬆症の治療の基本は薬物療法より、筋肉増強やエアロビクスのような運動療法が推奨されている。運動療法により骨が丈夫になるだけでなく、転倒のリスクも減るのである。やはり薬は日々進化しているが、薬というのはあくまでもサポートであつて、年をとつても運動のような努力をしないといけないのである。やはり人生は楽ではない。

JR東日本、日本貨物鉄道、私鉄各社  
鉄道施設工事、レール溶接工事

株式会社 トーヨ工業

相談役  
**田河 豊通**  
(河浦出身)

〒230-0004  
横浜市鶴見区元宮2丁目9番1号  
TEL:045-573-6965(代)  
FAX:045-573-4167  
JR 052-2075

鉄筋工事一式請負  
**角元興業**

代表  
**角元 賢謹**  
(新和出身)

〒190-0031  
東京都立川市砂川町4-11-21  
TEL・FAX 042-536-5421  
携帯電話090-7008-1431

有限会社 松尾工芸

社寺建築・特殊建具・  
鍛金具・金箔・漆塗装

**松尾 勝志**  
Matsuo Masashi  
(新和出身)

〒341-0018  
埼玉県三郷市早稲田8丁目  
14番地2  
TEL:048-959-3241  
FAX:048-959-3273  
〒341-0024(工場)  
埼玉県三郷市三郷3丁目13番地6  
FAX:048-952-3273



天然温泉  
**ペルラの湯** 門

〒863-0001

熊本県天草市本渡町広瀬996  
TEL/0969-22-3161  
FAX/0969-24-0670  
<http://www.hotel-alegria.jp>

# 夏休みファミリー大会

## 盛大に開催!

熱の夏の到来!

ま館山に運び?

家」が7月28日(日)

港に出現した。

火大会」が中止になる荒天。

しかし!

遊び用の天気そのものでした。

員、爺婆、子供 & 孫そのお友達、

今年の「天草んちの海の家」。

先祖様は、「天草海族だ」!

匂いが堪らない…。

坂田漁港の一曰 !! (輝)



「やられたら倍返し！」  
俺らあー「半沢直樹」だー！



くっつき過ぎ?  
ずうっと  
「しいとるけん」ね！



こがん笑顔、眩しか!  
羨ましか!



もっと、「くっついたかバッテン」  
にやー！

仲ん良か「みようと」  
笑顔三態！

皆様から多大なご芳志を頂きました

大会協力会社 (株)藤川工務店

大会ご寄付者

藤川博祥 園田峯生 寺平末廣 吉田眞一 柿山千鶴香  
緒方輝男 志茂 新 西田喜志男 内田由美子 女性部  
赤石洋子 本田治幸 釜崎初女

## 「夏休みファミリー大会」に初参加して。

当日は海の家には上天気、多くの会員の皆さん、お子さんやお孫さんを連れての、3世代での参加が多く見られ、楽しい集まりとなりました。始めに、昨夜から仕掛けでおいた定置網漁に乗船し、房総半島の沖合いまで行き、定置網を体験しました。船の中では、「かもめ」が近くまで寄ってきて、赤ちゃんの鳴き声みたいな声で鳴くのを始めて体験、年甲斐もなく感動しました。子供達にとっても良き思い出になったことでしょう。定置網も、そこそこの水揚げで、取立ての魚を現地で調理し、まさに、刺身や焼き魚は新鮮そのもので、一杯飲みながらの会話で至福の

時間でした。さぞ皆さんも満足された事でしょう。また、バーベキューでは肉や焼きそばなどを参加者で調理し、美味しいいただきました。また、今年は、女性部の皆さんのが「かき氷」を準備して頂き、子供達を中心に大好評でした。最後は、恒例のこと、スイカ割りを行い、大人たちが？大いに盛り上がりました。私も初めての参加でしたが、楽しいひと時をすごすことができ、大変満足しています。前日から現地入りしてご準備をしていただいた事務局の皆様をはじめ、運営にご尽力頂いた皆様に心より感謝申し上げます。(康志)

お楽しみ

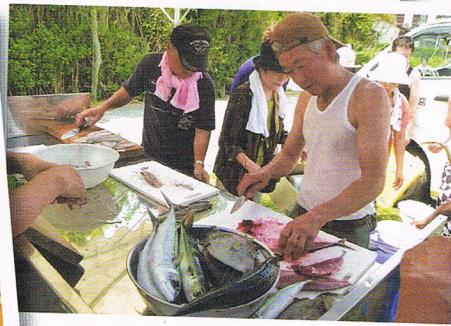
# 夏休みファ



90人にならないよ！誰か足りんが、先ずは記念写真！  
(後ろは有明海？不知火海？それとも)



今年も一応大漁報告でーす。



海族の子孫、「むごたらしか」、  
ばってん包丁さばきは流石！



「老人と海」俺たちや「ぶえん」で  
一杯「飲みや」よかと！



本日大盛況大繁盛！女性部のお姉さん方  
(無理ある？)の「かき氷」サービス蜜ば  
「よんにゅー」掛けとくよ！



婆婆は天草  
私も「し  
血が流れ

今回初めて参加頂き、  
東京天草郷友会の  
ホームページに  
掲載頂いた方の  
ご感想をご紹介します。

## 「海の匂いは堪らない。」

我が一族のご先祖様は天草海族だそうである。そのせいだろうか!? 山より海を好む。海の匂いは堪らない。南から吹く海風が心地よく、幼い頃赤銅色の肌にやけて育った天草の海が懐かしく思い出され、孫と磯遊びに興じる喜びにも浸れ、楽しい1日であった。東京天草郷友会役員並びに今回スタッフに心より感謝する。

# ザ・天草ヒストリー

5

# 歴男 たけし

近世  
〔乱前夜の天草　ローマへの道〕

須子の入江にて

前96号は天草にキリスト教が入った中世後期、戦いに明け暮れていた天草土豪五人衆たちは初めて団結し、加藤・小西の豊臣政権に叛旗をひるがえします。結果は敗れ、志岐麟泉は島外逃亡、天草氏他は降参したため秀吉はこれを許します。

天草南蛮文化が栄えます。秀吉によって出された「伴天連追放令」、続いて家康が出した「キリシタン禁止令、追放」。支配者達は早くから異国の大教を怖れたのです。天草・島原乱の50年も前、すでにキリストian弾圧は始っていました。乱前の現地天草に特別取材班を送り込み「天草・島原の乱」がどうして起きたのか、渾身の取材を試み深く検証します。ご期待ください。

川戸を船出するごとに海も屈んでいた。有明海の真ん中辺りにきて、アナゼが暴れだしたのである。秋冬にかけての季節に出漁中の漁師をよく悩ませる北西の突風である。有明海の潮は満ち潮には東へ、干り潮のときには西へ流れる。富岡は西に在る。だから干潮に乗れば樂に着くだろうと目論んだのがいけなかつた。舟が北西風に激しく叩きつけられ、身悶えしながら逆巻きはじめたのである。有明海の真ん中から早船は南へ南へと押し流された。天草島が見る見るうちに近づいて來た。

「陸に着けい」

横木に掴まつて、中腰の姿勢を必死に保ちながら、勝左衛門が声をふりしぼつた。舸子頭がその声に応じて怒鳴つた。

「取舵いつけい」

右舷漕ぎ手は一斉に艤を前に押さえた。舟は今にも転覆せんばかりに傾き、艤の力というより、波浪のなすがまま自然に急旋回し、岸辺へ向かつて斜交に押し流されていく。

勝左衛門は「いつそのこと陸を取ろう。舟は乗り捨て、匪を待つて富岡へ廻させることとし、帰

城番代三宅藤兵衛のもとへ差遣された肥後細川家の使者井口勝左衛門である。島原に、そして天草方に、キリシタン一揆起ころ。その気配を細川家はすでに察知していた。

船を漕ぐ六人の舳子（船方・船子）と一人の武士、荒れ狂う波浪に、舟は文字通り木の葉のように翻弄される。船首が宙に浮いたかと思うと艤（よし）どもが跳ね上がった。屈強の舳子があやつる櫓が櫓枕からはずれる。ぶつかりあう激浪の悲鳴と乱れがす

路に使おう」と切羽詰つた急場の中、試案をめぐらしていた  
神楽崎と呼ぶ岩礁の岬角をあやうくそれで、甲船は肥後国天草郡須子の入江にすべりこんだ。北向きに口を開いた入江は松や雜木で囲まれ、南には天草第二の高峰老岳が聳えている。その麓においては天草の奥に田畠と一握りほどの集落があつた。波打際には十艘ほどの小舟が浮かんだり干潟に坐つたりしている。人々は、半農半漁でその日をくらしている。須子村はそんな土地柄であった。  
勝左衛門はそこで異様な百姓たちの姿を見た。最初、3人ほどかと見かけられた。ところが見見た番らしい三人の合団で、勝左衛門たちが波打際に下り立つたときには50人ばかりにふくれ上がりつて一行を取り囲んだ。彼らは思いの旗指物を背負い木で作った十字架を押し立て、鉄砲や槍まで持っている。めいめい額の月代を十字架に剃りこんでいるのが勝左衛門には、なにか不気味に映つた。  
キリシタン、揆たちが警戒の陣を布いていたのだ。揆者らは、富岡城番代三宅藤兵衛様のところへ赴く細川家の使いの者である。頼む。そこを通してもらいたい。道を開けてくれまい。

百姓たちは押しかぶさるような勢いで、口々に罵りはじめた。

「何ば言うかい、三宅藤兵衛てや」「そりやあ、苦の話じやつかい」

「こりかりや、デウスの御代ばい。カトウリカのレパブリカぞ」

「すぐ帰らんば、わつどんが舟もたたつこわすぞ」  
神を意味するラテン語のデウス、そのころの日本人は邦訳して天帝と称した。天草の百姓たちは武器をとつて大公儀には向かい、天帝の時代を築こうとしているらしい。

百姓たちの頭らしい中年の男が、結論を下す上うにゆつたりした口調で言つた。

「お侍さん、わしどんがここば通してん、次の村もそん次ん村も、キリシタンが一揆しとりやす。富岡までちこ、徒步など、出来るもんじやなか」  
さんざん脅かされた勝左衛門たちは、重い足で舟に引き返した。うしるから、一揆どもの高笑いがおしかぶさつて来た。やがて鉄砲、槍を高くかかけて一齊に、「イエズスマリヤアー」「イエズスマリヤアー」と闘の声を上げた。

## 【天草のキリストン指導者たち】 天草人のルーツを知る—近世キリストン

徳川幕府によるキリストン迫害の嵐が吹きすぎでいた元和3年(1617)、日本イエズス会管区長のマテウス・デ・コードスは、長崎発全国キリストン証言文書集を、イスパニア宫廷イエズス会ボルトガル管区代表ルイス・ピニエリロに送った。(松田毅一博士研究資料による)

イエズス会より遅れて日本にやって来たフランス「公会」、アウグスチノ会、ドミニコ会などの修道士たちがイエズス会に関するデマをとばしていた。その根も葉もないデマが各会派修道士を通じて、なんとヨーロッパ本国にまで流布しているというのである。

なんのことはない、ローマ法王庁に所属していながら、会派相互間の縛り争いによる中傷合戦であった。聖職者とて人間。人間は悲しい。

「何によは言ひかし 三宅鹿児衛門侍や」そりゃあ  
の話じやつかい  
「こりかりや、デウスの御代ばい。カトウリカの  
レパブリカぞ」  
「すぐ帰らんば、わっどんが舟もたたつこわすぞう  
神を意味するラテン語のデウス、そのころの日本  
本人は邦訳して天帝と称した。天草の百姓たちは  
武器をとつて大公儀には向かい、天帝の時代を鎌  
こうとしているらしい。  
百姓たちの頭らしい中年の男が、結論を下すよ  
うにゆつたりした口調で言つた。  
「お侍さん、わしどんがここば通してん、次の村も  
そん次ん村も、キリストンが一揆しどりやす。高  
岡までちこ 徒歩など、出来るもんじやなか」

「お侍さん、わしどんがここば通してん、次の村も、  
そん次ん村も、キリシタンが一揆しとりやす。高  
岡までちこ、徒步など、出来るもんじやなか」  
さんざん脅かされた勝左衛門たちは、重い足で  
舟に引き返した。うしろから、一揆どもの高笑い  
がおしかぶさつて来た。やがて鉄砲、槍を高くか  
かげて一齊に、

舟に引き返した。うしろから、一揆どもの高笑いがおしかばさつて来た。やがて鉄砲、檜を高くかかげて一齊に、

れる周囲を仰ぐくらいの小さな無人島が鍋蓋のように横たわっている。一行はその島の中央に舟を垂り上げ、嵐を待ち、仮泊することにした。

百姓たちは確かに、「三宅藤兵衛なんか昔の話今はテウスの御代ばい」と言った。「ただごとではないぞ、天草の村々にはコソフラリア（組・講信心会）が潜伏していたのだ。武士を怖がる風がまつたくなかった」と、勝左衛門は考へ込むのであった。

まぎれもなく、天草・島原の民は、領主寺沢氏また松倉氏の苛政から脱して、キリストン王国（或いはカトリックの共和国）を築くために一揆して立ち上がったのである。寛永1年（1637）旧暦10月某日、有明海沿岸の村々にはすでに冬が訪れていた。以上須子からの取材でした。

この歴史的資料が昭和32年(1957)、三澤ノ・シユツチ神父(イスパニアの学者)によって首都マドリード王立学士院図書館と、古都トレド管区文書館の調査で発見された。

当時の記録であるので実に貴重な記録である。全国752名中59人が天草で占めている。やはり、天草のキリスト教徒の多さがうかがえる。

兵衛はおそらく現龍ヶ岳町高戸、神代喜兵衛は現姫戸町神代<sup>じんざい</sup>、東天草地域にもキリシタンがいたことは興味深い。楠甫勝介は現有明町楠甫、会津次右衛門は現松島町合津の住人だったのだろう。地名を名乗りに用いている点、これらの人々は中世在地豪族であったのではあるまいか。第44文書は惣代<sup>そうだい</sup>、組親<sup>くみおや</sup>、きも入<sup>肝煎</sup>などの役職があり、花押<sup>かおう</sup>までしている。領主寺沢氏<sup>うじ</sup>が土地の有力

## 【世界遺産級の天草版本】 天草コレジョ

所望によつて、後日の為一筆斯くの如し



村名と氏名について

一連の署名には、「ラテン語表記によるローマ字」が  
インもあり、それによつて「回」は「回<sup>じく</sup>」とよませ  
ていることがわかる。漢字まじり平仮名の洗礼名  
がおもしろい。地名を苗字としたらしい。鷹戸市良

それはそれとしてコーエス証言文書の肝心の内容である。上津浦、大矢野組の第44文書(和漢混交体)を注釈しながら読み下してみたい。組の役職のある者らが相談して書いたのだろうが、まことに、物静かで、しかも熱い祈りに満ちあふれた名文である。

「一ロス証言内容の一部

御主てうす(デウス・神)の御誉の為に、何国にても眞の証拠あらわれんため、左の理(ことわり)を書き記し申すものなり。

此れ以前の事は申すに及ばず、別して大御所等

## コードス証言内容の一部

おんまこと  
御主でうす(デウス 神)の御誓の為に、何國に  
おんまこと  
ても眞の証拠あらわれんため、左の理(ことわり  
じくべに)  
道理)を書き記し申すものなり。

(徳川家康)日本のきりしたんたて(キリストンダムデ・キリシタン宗団)に対し、へるせきさん(ヘルセキサン・迫害)を起こした玉ひで後、こんはにや(コンパンニア、イエズス会の略称)の伴天連(バテレン・神父)衆、此の上津浦のかかりの村々の貴理支端(キリシタン)に御合力(御助効)なされ、こんひさん(コンヒサン・告解)を御聞きなされ賣さきくらめんと(サクラメント・秘跡)を受け玉ふ事におこたり少しもこれなく候。其の上、或いは此の所に在宅なされ、或いは此の方角を…(文中省略)…までうすこうる(マテウス・デ・コロス様)

所望によつて、後日の為一筆斯くの如し。

天草での乱の直接原因は、島原半島の領主松倉重政がそれまでの太閤検地では天草郡の総高34,000石(実高21,000石)だったものを、寺沢元和繩延はし検地によって37,000石とそれでも実高以上だったのに「極端に過重すぎる」石高格付けをして苛斂誅求をきわめたこと。さらに追い討ちをかけるかのように、当時島原も天草も数年間にわたる日照り続きで凶作となり飢饉が発生、餓死するよりも生き伸びる最後の手段として一揆を選んだのである。苛政は島原と天草も同様であつたことから両方の代表者が有明海の湯島で作戦を談合(最後は10/24)して、まず翌25日には馬から、27日には大矢野から、それぞれ島原一揆、天草一揆を起こし、乱へと展開していく。

参加した者の多くが農漁民のキリシタンで、重税とキリシタン迫害は過酷をきわめ、二重の苦しみだつたため乱後の思惑は違えども、参加者のほとんどが殉教を覚悟してパライゾ(天の楽園)の国を夢見て戦つたのでした。



## 【天草・島原の乱発生】 亂発生の原因

## 乱発生の原因

「歴史に叶はない」枕詞みたいに言われるが、もじ  
関ヶ原で東軍が負け、西軍が勝つていたら日本はどう  
のようになっていたらう。少なくとも明治維新は  
ないわけで、関ヶ原の後、キリストの乱はなく、  
鎖国もなく、グローバルな日本が420年前に出来  
上がり、世界の中の日本も違っていたことでしょう  
ね。

黄金の十字架

俳句と天草の仲間たち

## 「苓洲会」第二回目「吟行」の開催!

本田治幸

去る5月3日苓洲会では、二回目の吟行を開催致しました。

人数は岩崎先生も加えて総勢12人!

今回は、築地と竹芝ふ頭に挟まれた場所にある、「浜離宮恩賜庭園」という日本庭園でした。

皆さんに、吟行と言うものがどうい

う風に進められて行くのかご紹介いたします。

吟行とは俳句や和歌の題材を求めて名所・旧跡などに出かけることを云います。

普段、会場を借りて部屋の中で行う俳句の勉強が、あけっぴろげの青空のも

とで、伸び伸びと詠める訳ですから皆嬉しくまた、楽しくなるものです。

浅草から水上バスに乗り、隅田川をゆうゆうと下り、浜離宮に到着。吟行の予定を軽く打ち合わせして、いざ出陣! めいめいが好きな場所へ散つて行きました。

季題は無し。

好きな花鳥風月を取り入れて

一人4句作ること。

時間は食事の時間も入れて

2時間半とする

その後会場の「赤石」にて

短冊に書いた俳句の選句会。

5月3日でしたので、さくらは散つた後、藤の花も盛りを過ぎてしまふんで

予定の時間が過ぎると、一同は選句会場へ移動します。

岩崎先生が以前外国のお客様をご案内されたとき、お客様から「ここは花が少ない庭園ですね」と言われたことを思い出されていました。花のない庭園は異質だし、花は国が違つても「もてなしの心」には必要なんでしょう。

少しだけ残っていると言う感じでした。あと天草に自生している「つわ露」が生えていたのが嬉しかったのを覚えていてます。ユキヤナギ、カントウタンポポ、ボタンなどもあるそうですが残念ながら花を見ることはできませんでした。本当にここは花が少ないんですね。

少しだけ残っていると言った感じでした。

あと天草に自生している「つわ露」が生えていたのが嬉しかったのを覚えていてます。ユキヤナギ、カントウタンポポ、ボタンなどもあるそうですが残念ながら花を見ることはできませんでした。

少しだけ残っていると言った感じでした。

あと天草に自生している「つわ露」が生えていたのが嬉しかったのを覚えていてます。ユキヤナギ、カントウタンポポ、ボタンなどもあるそうですが残念ながら花を見ることはできませんでした。

船遊び 大川端のつつじかな

武(龍ヶ岳町)

風薫る水辺に人の群れし庭

幸春(有明町)

潮満つる池に迫り出す紅つつじ

捷平(龍ヶ岳町)

春鳥のさえずり汽笛とハーモニー

康志(新和町)

ふじの花落ちて色なき浜離宮

治幸(姫戸町)

老松や三百年の新芽かな

定敏(姫戸町)

草踏めばすみれたんぼほクロバの葉

洋子(本渡市)

藤棚や潮風浴びて日向ぼこ

豊子(松島町)

春めくや汐留川にエイのむれ

博祥(新和町)

いにしえの水面に映える白つつじ

峰生(本渡市)

古の林歩めばすみれ咲く

孝子(本渡市)

関東ふるさと祭北会

会長 園田 達彦

事務局

横浜市港北区新吉田町五七八〇一八  
電話 ○四一五九二一五〇七五  
FAX ○四五五九三一三〇一八

会長 富永 英六  
友山 重則

事務局

茅ヶ崎市柳島海岸九九〇一三三[友山方]

電話 ○四六七一八一〇六三一

スマイル引越しセンター東京センター  
0120-578825



代表取締役  
柘山 輝雄  
(天草町福連木出身)

本社 東京都板橋区桜川2丁目15番18号  
TEL 03 (3931) 7004 (代)  
FAX 03 (3931) 7512

営業所 東京都板橋区桜川2丁目13番11号  
TEL 03 (3934) 2371

茨城営業所 茨城県古河市磯部11-1  
TEL 0280 (93) 0004  
FAX 0480 (48) 6384

残暑見舞い申し上げます。



■句会などの問い合わせ先

「苓洲会」事務所 本田治幸

電話 03-3689-5241  
携帯 090-33348-4385



孝子(本渡市)

博祥(新和町)

峰生(本渡市)

洋子(本渡市)

豊子(松島町)

定敏(姫戸町)

幸春(有明町)

捷平(龍ヶ岳町)

康志(新和町)

武(龍ヶ岳町)

治幸(姫戸町)

老松や三百年の新芽かな

草踏めばすみれたんぼほクロバの葉

藤棚や潮風浴びて日向ぼこ

春めくや汐留川にエイのむれ

いにしえの水面に映える白つつじ

古の林歩めばすみれ咲く

孝子(本渡市)

博祥(新和町)

峰生(本渡市)

洋子(本渡市)

豊子(松島町)

定敏(姫戸町)

幸春(有明町)

捷平(龍ヶ岳町)

康志(新和町)

武(龍ヶ岳町)

治幸(姫戸町)

老松や三百年の新芽かな

草踏めばすみれたんぼほクロバの葉

藤棚や潮風浴びて日向ぼこ

春めくや汐留川にエイのむれ

いにしえの水面に映える白つつじ

古の林歩めばすみれ咲く

孝子(本渡市)

博祥(新和町)

峰生(本渡市)

洋子(本渡市)

豊子(松島町)

定敏(姫戸町)

幸春(有明町)

捷平(龍ヶ岳町)

康志(新和町)

武(龍ヶ岳町)

治幸(姫戸町)

老松や三百年の新芽かな

草踏めばすみれたんぼほクロバの葉

藤棚や潮風浴びて日向ぼこ

春めくや汐留川にエイのむれ

いにしえの水面に映える白つつじ

古の林歩めばすみれ咲く

孝子(本渡市)

博祥(新和町)

峰生(本渡市)

洋子(本渡市)

豊子(松島町)

定敏(姫戸町)

幸春(有明町)

捷平(龍ヶ岳町)

康志(新和町)

武(龍ヶ岳町)

治幸(姫戸町)

老松や三百年の新芽かな

草踏めばすみれたんぼほクロバの葉

藤棚や潮風浴びて日向ぼこ

春めくや汐留川にエイのむれ

いにしえの水面に映える白つつじ

古の林歩めばすみれ咲く

孝子(本渡市)

博祥(新和町)

峰生(本渡市)

洋子(本渡市)

豊子(松島町)

定敏(姫戸町)

幸春(有明町)

捷平(龍ヶ岳町)

康志(新和町)

武(龍ヶ岳町)

治幸(姫戸町)

老松や三百年の新芽かな

草踏めばすみれたんぼほクロバの葉

藤棚や潮風浴びて日向ぼこ

春めくや汐留川にエイのむれ

いにしえの水面に映える白つつじ

古の林歩めばすみれ咲く

孝子(本渡市)

博祥(新和町)

峰生(本渡市)

洋子(本渡市)

豊子(松島町)

定敏(姫戸町)

幸春(有明町)

捷平(龍ヶ岳町)

康志(新和町)

武(龍ヶ岳町)

治幸(姫戸町)

老松や三百年の新芽かな

草踏めばすみれたんぼほクロバの葉

藤棚や潮風浴びて日向ぼこ

春めくや汐留川にエイのむれ

いにしえの水面に映える白つつじ

古の林歩めばすみれ咲く

孝子(本渡市)

博祥(新和町)

峰生(本渡市)

洋子(本渡市)

豊子(松島町)

定敏(姫戸町)

幸春(有明町)

捷平(龍ヶ岳町)

康志(新和町)

武(龍ヶ岳町)

治幸(姫戸町)

老松や三百年の新芽かな

草踏めばすみれたんぼほクロバの葉

藤棚や潮風浴びて日向ぼこ

春めくや汐留川にエイのむれ

いにしえの水面に映える白つつじ

古の林歩めばすみれ咲く

孝子(本渡市)

博祥(新和町)

峰生(本渡市)

洋子(本渡市)

豊子(松島町)

定敏(姫戸町)

幸春(有明町)

捷平(龍ヶ岳町)

康志(新和町)

武(龍ヶ岳町)

治幸(姫戸町)

老松や三百年の新芽かな

草踏めばすみれたんぼほクロバの葉

藤棚や潮風浴びて日向ぼこ

春めくや汐留川にエイのむれ

いにしえの水面に映える白つつじ

古の林歩めばすみれ咲く

孝子(本渡市)

博祥(新和町)

峰生(本渡市)

洋子(本渡市)

豊子(松島町)

定敏(姫戸町)

幸春(有明町)

捷平(龍ヶ岳町)

康志(新和町)

武(龍ヶ岳町)

治幸(姫戸町)

老松や三百年の新芽かな

草踏めばすみれたんぼほクロバの葉

藤棚や潮風浴びて日向ぼこ

春めくや汐留川にエイのむれ

いにしえの水面に映える白つつじ

古の林歩めばすみれ咲く

孝子(本渡市)

博祥(新和町)

峰生(本渡市)

洋子(本渡市)

豊子(松島町)

定敏(姫戸町)

幸春(有明町)

捷平(龍ヶ岳町)

康志(新和町)

武(龍ヶ岳町)

治幸(姫戸町)

老松や三百年の新芽かな

草踏めばすみれたんぼほクロバの葉

藤棚や潮風浴びて日向ぼこ

春めくや汐留川にエイのむれ

いにしえの水面に映える白つつじ

古の林歩めばすみれ咲く

孝子(本渡市)

博祥(新和町)

峰生(本渡市)

洋子(本渡市)

豊子(松島町)

定敏(姫戸町)

幸春(有明町)

捷平(龍ヶ岳町)

康志(新和町)

武(龍ヶ岳町)

治幸(姫戸町)

老松や三百年の新芽かな

## 事業部だより

さる、4月14日(日)「平成25年度総会・懇親会」へは多数のご参加ご協力を頂き有難うございました。また、7月28日(日)館山市坂田港で開催しました恒例の「夏休みファミリービーチ大会」には、遠方にも関わらず、多数の参加を頂き大盛況で終了しました。二つの行事とも皆様のご協力の賜物とここに、深く感謝申し上げます。

さて、毎年11月11日に開催します、「東京天草郷友会親睦ゴルフ大会」を今年も計画致しましたので、ご案内申し上げます。今回は、日本男子シニアツアー「ファンケルクラシック」が例年開催され、今年も、8月16・17・18日と開催された秀麗なる富士の麓「裾野カントリークラブ」で計画いたしました。皆様、お誘いあわせの上、ご参加頂けますようご案内申し上げます。

(事業部 寺平)



## 第35回 東京天草郷友会 親睦ゴルフ大会の ご案内

開催日  
平成25年11月11日(月)

### 開催場所

裾野カントリー倶楽部  
〒410-1104 静岡県裾野市今里 1060  
東名高速道路 裾野 IC から 5 分

電話  
055-997-3030(代)

Fax  
055-997-0173

費用  
プレイ代金 13,000 円  
キャディカード付(昼食別)  
会費 5,000 円

### お問合せ先

東京天草郷友会事務局  
〒223-0056  
横浜市港北区新吉田町 5780  
電話 : 045-620-0426  
Fax : 045-593-3018  
Mail : gouyukai@ade.bforth.com  
寺平末廣 電話 : 03-6807-1505  
Mail : terahira@kusaken.com

## 「親睦バス旅行」企画中

実施予定  
平成26年1月26日(日)～27日(月)

開催場所  
只今検討中(皆様、ご希望先が御座いましたら、ご連絡下さい)

お問合せ先  
東京天草郷友会事務局  
〒223-0056  
横浜市港北区新吉田町 5780  
電話 : 045-620-0426  
Fax : 045-593-3018  
Mail : gouyukai@jade.bforth.com  
内田由美子  
電話 : 045-715-9534 携帯 : 090-8101-7675

今年度より、前村山部長に替わり部長を仰せつかりました、内田由美子(姫戸町)でご御座います。以前より幹事として会務に携わってはまいりました。しかし、何分日が浅く、何かとご迷惑をお掛けすると思いますが、先輩方のご指導を頂きながら、役務を果たしました。あわせの上、ご参加頂けますようご案内申し上げます。

各種行事の中で、女性部主催が定着してきました「東京天草郷友会親睦バス旅行」は本年も旅行日程を既に、決定いたしております。

会報96号にて、昨年度実施の「焼津温泉」の旅は、志茂広報部副部長の取材旅行記?の如く楽しい「旅」でした。前回、ご都合で参加できなかつた方も是非、お正月に楽しさを共有しましょう!!

(女性部 内田)

## 株式会社 松浦工業

代表取締役  
**松浦 富夫**  
(松島町出身)  
関東上天草ふるさと会会长

〒362-0066  
埼玉県上尾市領家646-5  
TEL:048-781-3761(代)  
FAX:048-781-3052

**MALIBU**

株式会社 マリブジャパン

代表取締役  
**坂口 早生**  
(龍ヶ岳出身)

灯り文化  
灯りは人を幸せにする

マリブライト  
12V LED ガーデンライト

〒151-0053  
東京都渋谷区代々木2-23-1  
ニューステイメント-2755  
TEL:03-3377-1218  
FAX:03-3377-1219  
<http://malibu-japan.co.jp>

**リングサイド**  
ストロング永田

TEL H.P. 090-3322-0653  
天草市今蓋新町3591  
TEL 0969-23-0975



帰省の際はお立ち寄りください。



スナック たのし美

森山美奈代  
090-7442-4864

天草市南新町4-5(バスセンター裏)  
TEL 0969-23-0975

季節の花宅配専門  
**ピュアフラワー 東京店**

お申し込み/お問い合わせ

フリーダイヤル

**0120-97-0875**

【受付時間】9:00～17:00

【定休日】日曜日

株式会社 内田商会

〒144-0034

東京都大田区西糀谷1-12-9

TEL 03-3741-1916

## 女性部だより

## 「大手コンビニの進出」

### 天草だより 「天草の現況」



事務局次長(天草担当)  
中井 詔太郎(不動産鑑定士)

60数年の東京生活から、平成17年3月に天草に移り住み、天草市佐伊津町で暮らして8年5ヶ月になりました。天草暮らしにも慣れ、地元の地域社会の様子もわかつてきました。本年4月から佐伊津町明瀬区の5班の班長をしています。

佐伊津町の高台の分譲住宅地は水が良く、買物、通院に便利なため、天草では数少ない人口増加地域です。小学生もかなり見かけます。雲仙と有明海を望めるのでハッピーリタイアした夫婦が移り住んでいます。朝、犬と散歩しているとよく会います。皆さん、天草の佐伊津の高台に移ってよかったですと話しています。

天草で暮らすのであれば佐伊津のような東海岸の冬場に強い季節風が吹かないところを勧めます。

5月には国道324号沿いの海岸にローソン佐伊津店が開店しました。市内中心部国道324号沿いのローソン南新町店、上天草市の国道266号沿いローソン大矢野店に続き3番目です。天草でもセブンイレブン、ローソン、ファミリーマートの大手3強の競争は激化しています。既存店は売り上げ不振に直面し、南九州ではサンクス加盟店が生き残るためにローソンに転換されました。

大手コンビニは地域の人口と購買力、発展性、立地条件をよく調べて出店しています。天草で暮らすのであればコンビニの近くがよいでしょう。コンビニは高齢者向けの弁当やおかずを開発しています。ATMや電子マネーが使え、駐車場が広くて停めやすく設備とサービスがよ

い大手のコンビニが開店すると小さな古い店が2店は閉店します。佐伊津でも集落内の古くからの商店は閉店しました。

天草全地域では、生活に便利で発展し大手コンビニが出店している地域は本渡北から佐伊津町へのドコモ、ユニクロ、パチンコ店等が立地する国道324号沿いのごく一部です。大部分の地域は過疎化が加速し、小中学校は統合により閉校し、ガソリンスタンド等の店舗も閉鎖が続いているため地価は大幅に下落しています。

過疎と一部過密が同居している状況です。

## 「橋や道路等インフラの整備」

### 更新状況

中央道笛子トンネル天井崩落事故以来、全国各地でインフラ老朽による更新が急務となっています。

昭和44年(1969年)に建設された天草五橋も44年経過し更新の時期を迎えております。このため、三角半島と大矢野島を結ぶ1号橋・新天門橋(463m、総事業費72億円、2013年度予算20億円)も工事を行つており、2016年度完成予定です。

第二瀬戸大橋(13樹km、総事業費123億円)は本渡マリンタウン計画頓挫のため遅れましたが、2004年に第二瀬戸大橋を含んだ4kmが国の調査区間に指定され、第二瀬戸大橋1.3kmが優先整備されます。2012年9月に蒲島知事が県単独でも調査、測量すると表明し、6月から県の予算で調査測量が開始されました。

瀬戸大橋(一日交通量約3万台)は上島側の国道324号、266号で通勤ラッシュ時に渋滞(ピーク時約2.2km)が慢性化しています。上島では地元に勤め先が少ないため、かなりの住民が朝夕の渋滞で貴重な時間を奪われながら、下島に通勤しています。このため、上島の土地は需要が少なく値下がりしている状況です。

## 特別寄稿

### 「ふるさと天草」にUターンして

天草市有明町在住 北辻 進

私こと、昨年の10月に会社を定年退職となり、長年住み慣れた東京を出て第二の人生を過ごすため、親類や幼友達がいる天草へ帰りました。急速な行動でしたので、長い間親しくして頂き、ご指導を賜った皆様に詳しいご相談をせず行動したのが心苦しく、「後ろ髪を引かれる」思いを致しております。

東京では、約37年と人生の半分以上を過ごしました。先輩諸兄から可愛がって頂きこれからは恩返しをと思っていましたが、勤め先の都合もあり、若干早く、定年退職を致しました。当初は、東京で骨を埋めようとも思いましたが、第二の人生を見直し「故郷へ帰る」方を選択し、帰郷しました。先輩諸氏の皆様からの多大な恩恵や、アドバイスを忘れる事なく、天草の発展に少しでも寄与出来るよう、東京での経験を反映したいと奮闘いたす所存です。

特に、ゴルフ会の世話を人の皆様には送別会を開催して頂きました。皆様の温かい心に感謝お礼を申し上げさせていただきます。

想い出は日々御座いますが、平成16年「天草ふるさとゴルフ大会」で個人優勝させて頂いたことがあります。また新日出雄様のご指導で「東京本渡会」の旗揚げに参加させて頂いたこと等、想い出は尽きません。

昨年の10月に引越しが終わり、家探しを知人(不動産関係)へお願いしました。

天草に住む場合は本渡を中心として、本渡から15分程度の範囲内での家探しは良く、その理由は緊急車両(介護、救急車、パトカー等)

が数分内で来てくれる事が最善であるとのアドバイスでした。

「病気ケガした時に救急車を呼んだ時は、どこでも来てくれますが、時間がかかることがあります。私達も仕事や生活があるし、近いと家族が交代で何とか介護出来るけど、遠いと無理だね」とこの進言で、本渡に近い所をターゲットに、探す事に致しました。

お蔭さまで、「天草市の地域振興による広報」を頼りに空き家を探す事が出来ました。

現在は、隣人の皆様からも歓迎して頂き、地域のゴミ出しや集会等にも参加して新生活をエンジョイ致しております。

また、余暇を過ごすため、中古ですが小型漁船を購入して家の前の小さな港に係留させてもらっています。船に乗って魚釣りは良いですよ、港を出てすぐキス、グチ、ペラ等良いく釣れています。メバル、ガラカブと楽しんでいます。

お礼のご挨拶のつもりが、自慢になりませぬ。最後に、皆様方のご健勝と「東京天草郷友会」の益々のご発展を早く、ふるさと天草の地から祈っております。(平成25年8月記す)



有明町の係留港で愛船?と北辻 進氏

## 事務局だより

## 平成25年度(上期)の会費、維持会費、ご寄付ありがとうございました。

- 会は、皆様の会費で運営致しております、会費の納入にご協力ください。
- なお、23年度までは、会費・維持会費・寄付金をお受け頂いた方には、「はがき」にて領収書を兼ねて連絡致しておりましたが、24年度より経費節減を図るため、会報に掲載することで、(昨年同様)省略させて頂きます。万一記載漏れ等ございましたら、事務局までご連絡頂き、対処致することとします。どうかご理解のほどお願いいたします。
- 25年度の会費納入がまだの方には、改めて会費振込紙を同封させて頂きました。ご協力を願います。
- 事務局からのお詫び

会報96号掲載分(24年度の会費・維持会費)に小崎智富様(有明町)の維持会費20,000円会費2,000円の掲載漏れがありました。(95号上期分には掲載済)

小崎智富様並びに皆様には、大変申し訳ありませんでした。お詫び申し上げます。

| 維持会費       |        |
|------------|--------|
| 荒木 親洋      | 30,000 |
| 内田由美子      | 10,000 |
| 甲田 敏明      | 10,000 |
| 園田 峯生      | 20,000 |
| 助村 隆典      | 8,000  |
| 赤石 洋子      | 10,000 |
| 小崎 智富      | 10,000 |
| 今福 幸春      | 17,000 |
| 塚本 浩晴      | 10,000 |
| 柴田 治美      | 30,000 |
| 西田 勝年      | 10,000 |
| 竹森 要       | 20,000 |
| 田河 豊通      | 10,000 |
| 緒方 輝男      | 30,000 |
| 堺 亜琉       | 10,000 |
| 大田 勝美      | 10,000 |
| 桁山千鶴香      | 10,000 |
| 中原 栄子      | 10,000 |
| 藤川 博祥      | 50,000 |
| 岩崎 八男      | 20,000 |
| 山崎 義則      | 10,000 |
| 合計345,000円 |        |

| ご寄付者       |        |           |        |           |        |
|------------|--------|-----------|--------|-----------|--------|
| 西 末光       | 8,000  | 田 中 一俊    | 3,000  | 大 田 勝美    | 8,000  |
| 園 田 峯生     | 8,000  | 田 尻 鉄矢    | 5,000  | 田 中 多実子   | 3,000  |
| 清 水 利人     | 3,000  | 友 澤 道子    | 6,000  | 稻 田 彰典    | 3,000  |
| 井 上 勉      | 3,000  | 竹 森 章     | 3,000  | 下 門 玲子    | 3,000  |
| 新 日 出 雄    | 8,000  | 大 曲 仁     | 3,000  | 園 田 達彦    | 8,000  |
| 西 向 敦      | 8,000  | 鳥 羽 瀬 正一  | 8,000  | 鳥 羽 瀬 建男  | 5,000  |
| 赤 石 洋 子    | 10,000 | 谷 山 弘 行   | 8,000  | 杉 本 道 人   | 3,000  |
| 連 川 弘 二    | 10,000 | 三 宅 健 富   | 3,000  | 若 松 孝 市   | 8,000  |
| 川 原 利 之    | 3,000  | 田 河 豊 通   | 28,000 | 堺 千 種     | 3,000  |
| 村 田 文 裕    | 3,000  | 宮 本 一 典   | 10,000 | 石 原 靖 曠   | 8,000  |
| 塚 本 浩 晴    | 10,000 | 中 井 詔 太 郎 | 8,000  | 坂 川 武     | 8,000  |
| 稻 葉 由 起 子  | 1,000  | 井 上 正 三   | 3,000  | 神 田 昌 利   | 3,000  |
| 宮 口 泰      | 1,000  | 矢 島 静 子   | 3,000  | 島 崎 源 之 助 | 10,000 |
| 湯 沢 泰 彦    | 2,000  | 渡 辺 和 則   | 3,000  | 武 田 三 千 穂 | 3,000  |
| 吉 松 ト モ エ  | 2,000  | 村 上 有 志 知 | 3,000  | 原 田 玲 子   | 2,000  |
| 尾 田 為 人    | 5,000  | 橋 口 守     | 3,000  | 濱 下 則 明   | 10,000 |
| 松 尾 勝 志    | 2,000  | 高 木 敏 也   | 3,000  |           |        |
| 鶴 岡 し さ ん  | 3,000  | 高 尾 朋 行   | 1,000  |           |        |
| 合計282,000円 |        |           |        |           |        |

| 平成25年度会費納入者一覧表(平成25年1月1日~7月31日) |           | 平成25年7月31日現在 |           | 会費納入者     |             | 合計550,000円 |             |
|---------------------------------|-----------|--------------|-----------|-----------|-------------|------------|-------------|
| 天草(町)20名                        | 永濱 嶽      | 中井詔太郎        | 田 中 一俊    | 鶴岡しをり     | 緒 方 清       | 吉 松 ト モ エ  | 藤 田 和 雄     |
| 原 哲 世                           | 天草 二 郎    | 泉 善 尊        | 竹 森 章     | 小 平 三 男   | 原 田 玲 子     | 新 日 出 雄    | 緒 方 孝 子     |
| 木 田 研 一                         | 押 方 喜 恵 子 | 清 原 桂 典      | 河 浦 13名   | 新 和 28名   | 吉 田 真 一     | 赤 石 洋 子    | 石 原 靖 曠     |
| 浜 田 ト ヨ 子                       | 砂 岡 俊 宏   | 釜 崎 初 女      | 倉 田 蕃 造   | 船 元 俊 之   | 吉 田 綾 子     | 野 田 時 治    | 枠 田 功       |
| 上 田 幸 穂                         | 高 戸 三 幸   | 金 子 正 明      | 倉 田 昭 正   | 清 水 幸 人   | 木 島 昭 子     | 浜 健 悟      | 和 田 東 洋 司   |
| 川 原 利 之                         | 神 部 順 子   | 山 下 登        | 東 文 昭     | 助 村 隆 典   | 原 田 の る み 子 | 星 野 悅 子    | 鶴 田 義 久     |
| 森 秋 雄                           | 五 和 35名   | 田 尻 鉄 矢      | 三 宅 健 富   | 清 水 利 人   | 勝 木 隆       | 大 中 義 広    | 大 平 康 英     |
| 川 口 雄 二                         | 西 未 光     | 金 子 正 朝      | 田 河 豊 通   | 岡 本 日 吉   | 松 本 愿       | 大 曲 仁      | 二 宮 イ ツ 子   |
| 濱 田 均                           | 福 井 幸 人   | 清 水 一 男      | 歳 田 昭 英   | 鈴 木 鈴 美   | 福 田 靖       | 山 田 輝 夫    | 金 子 美 裕 紀   |
| 竹 森 要                           | 牛 深 15名   | 伊 藤 裕 子      | 村 上 有 志 知 | 川 端 光 広   | 鶴 田 寿 英     | 大 野 俊 康    | 原 田 幸 徳     |
| 濱 村 保 男                         | 原 田 昭 好   | 原 田 昭 好      | 早 水 橋 夫   | 寺 平 未 广   | 谷 山 弘 行     | 島 崎 勝 人    | 久 保 田 か つ み |
| 山 下 公 輔                         | 久 野 栄 子   | 西 向 敦        | 西 向 敦     | 松 元 巧     | 松 元 令 士     | 井 坂 久 美 子  | 佐 藤 節 代     |
| 武 田 三 千 穂                       | 長 濱 敏 明   | 長 谷 場 亮 祐    | 森 田 聖 憲   | 中 元 令 士   | 梶 田 恵 光     | 吉 本 守      | 野 口 明       |
| 尾 崎 隆 司                         | 金 子 藤 吉   | 山 崎 義 則      | 岩 崎 勝 美   | 山 崎 文 男   | 浦 田 建       | 宮 本 一 典    | 北 内 寿 夫     |
| 川 原 照 文                         | 猪 俣 昭 三   | 荒 井 テ ル ミ    | 西 尾 昭 秋   | 山 下 順 子   | 山 下 大 田     | 原 田 純 吾    | 井 上 正 夫     |
| 宮 口 泰                           | 岩 下 好 夫   | 岩 下 好 夫      | 歳 田 敬 三   | 大 田 勝 美   | 前 田 義 明     | 松 田 卓 巳    | 松 島 6名      |
| 西 田 喜 志 生                       | 三 澤 哲 也   | 保 田 井 清 子    | 倉 岳 5名    | 渡 辺 吉 明   | 井 上 勉       | 矢 島 静 子    | 塚 本 浩 晴     |
| 若 松 一 喜                         | 鳥 羽 瀬 正 一 | 中 道 俊 信      | 金 子 周     | 湯 沢 泰 彦   | 本 田 治 幸     | 田 崎 公 郎    | 志 茂 豊 子     |
| 町 村 良 之                         | 吉 見 直 喜   | 上 羽 泉        | 藤 川 佐 利   | 園 田 達 彦   | 浦 本 博 一     | 和 则 守      | 高 戸 升       |
| 尾 崎 盛 義                         | 浜 崎 照 元   | 平 下 寿        | 高 尾 朋 行   | 久 保 實     | 前 田 嘉 也     | 山 川 浩 次 郎  | 松 浦 富 夫     |
| 佐 々 木 康 子                       | 山 本 忠 義   | 中 原 栄 子      | 稻 田 彰 典   | 益 田 九 州 男 | 若 松 孝 市     | 有 馬 良 一    | 塚 本 七 助     |
| 有 明 17名                         | 寺 崎 典 男   | 濱 下 則 明      | 稻 葉 由 起 子 | 平 山 敏 明   | 竹 中 正 義     | 下 門 玲 子    | 小 山 菊 司     |
| 赤 城 光 则                         | 佐 々 木 靖 暢 | 足 立 恒 子      | 御 所 浦 12名 | 小 山 康 志   | 出 口 定 敏     | 金 子 正 子    | 龍ヶ岳 14名     |
| 黒 木 憲 一                         | 井 上 正 三   | 友 泽 道 子      | 荒 木 十 五 朗 | 尾 田 為 人   | 志 水 勝 喜     | 秋 田 健 二    | 段 下 正 志     |
| 柴 田 英 雄                         | 吉 野 平 八 郎 | 大 矢 野 9名     | 村 田 文 裕   | 川 端 未 広   | 濱 崎 伸 太 郎   | 道 人 重 德    | 西 岡 捷 平     |
| 赤 城 一 德                         | 鳥 羽 瀬 建 男 | 連 川 弘 二      | 西 浦 三 喜 男 | 佐 々 木 淳 子 | 山 下 純 二     | 岩 下 直 記    | 中 野 一 吉     |
| 小 崎 智 富                         | 神 田 昌 利   | 古 嶴 康 義      | 吉 永 三 徳   | 竹 元 靖 史   | 本 渡 53名     | 久 保 祐 一 郎  | 久 保 祐 一 郎   |
| 今 福 幸 春                         | 桁 山 千 鶴 香 | 内 野 多 恵      | 鶴 岡 庄 次 郎 | 角 元 賢 謙   | 中 村 琢 磨     | 緒 方 輝 男    | 緒 方 輝 男     |
| 吉 田 安 人                         | 荒 木 親 洋   | 山 田 民 雄      | 田 中 盛 正   | 松 尾 未 広   | 小 倉 し づ 子   | 福 岡 健      | 段 下 文 男     |
| 山 本 弘 子                         | 猪 口 孝 一   | 池 谷 卓 児      | 大 槍 輝 子   | 川 端 角 元   | 梅 本 進       | 柏 原 美 紀 子  | 段 下 明       |
| 柴 田 健 雄                         | 猪 口 逸 男   | 浅 岡 ス ミ 子    | 天 羽 幾 世   | 佐 々 木 淳 子 | 園 田 峯 生     | 伊 藤 博 通    | 浜 崎 千 種     |
| 今 福 武                           | 坂 本 秀 明   | 園 田 雅 宣      | 富 山 三 希 子 | 岩 井 美 佐 子 | 前 田 非 登 美   | 有 馬 寧 雄    |             |
| 入 来 哲 男                         |           |              |           |           |             |            |             |

## 趣味と私 篆刻との出会い



川原利之氏  
(高浜会会長)

現役の頃より水墨画に興味があり、NHKの「趣味の講座」に入門し払い込みを済ませ、道具と教材が一式送られてきたのと同時に、会社の都合で続けられなくなり、一度も道具に触ることなく退職したものである。

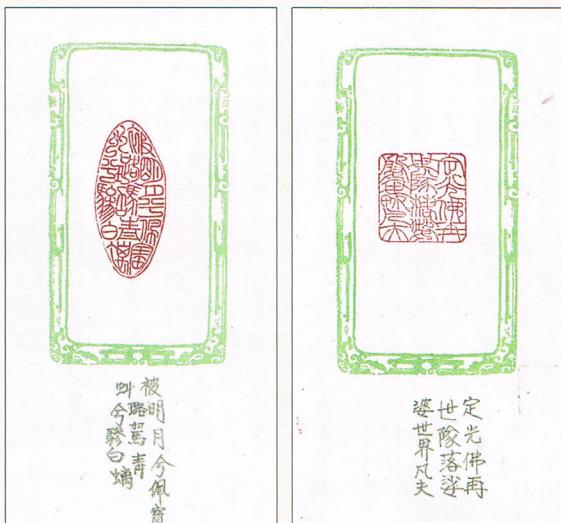
退職後近くの公民館で水墨画の生徒募集を知り、早速申し込み現在に至っている。水墨画と篆刻は切っても切り離せない関係である。落款は勿論、遊印等も欲しくなるものである。篆刻は古代中国で発祥し、当初は官職の璽印から己の持ち物の封印などを経て、後には文人の趣味に至る迄、約2000年の歴史がある。文字の印製作と鑑賞を楽しむ古い伝統に培われた書の一文体です。日本では江戸時代中期から文人は自分の姓名雅号のほか信条とする言葉、意に叶つた詩句を刻して、書画に捺印するようになつたと言られています。

印の製作と鑑賞上での要点である、「篆刻三法」の字方(文字を選ぶ)章法(印面の構成構図)刀方(運刀技法)を学びながら姓名印、成語印とか吉語、落款、遊印等製作しながら楽しんでおります。中國の古い文字の中には甲骨文、金

文、小篆、印篆体と言う文字があり、その中から自分の好きな文字を選び朱文、白文どちらから選び篆刻刀(鉄筆)で刻んでいきます。

印材の中でも最もポピュラーなのは、青田石、寿山石、巴林石ですが、中国の産地による違いです。硬、軟筆では歯が立たないものもあり、その場合は超硬付の篆刻刀を使用します。

同じ文字を彫つても10人10色と言いますか、個性が表れて面白いものです。最近では水墨画より篆刻に夢中になり、晴耕雨読の心境に浸つたりしております。それよりも最近では中国での印材の産出が少なく、日本の印材店では殆ど品不足となつて居るのが現状です。



「東京天草郷友会」も平成17年頃立ち上げた後、平成24年3月にリュニアルして、現在に至っております。リニュアル後1年半で現在迄(9/2)10,000件を突破するアクセスがありました。(この種のホームページでは珍しいとの事)会員の方々、また郷里天草の方は勿論、世界中!の方

が閲覧しています。今年は、「東京天草郷友会」の存在を知らなかつた、天草出身で関東在住の方々から、新規会員申し込みが数多くありました。会員増にも貢献しております。

さて、東京天草郷友会ホームページの利用方法について。

東京天草郷友会のホームページはどうしたら利用できるの?という素朴な質問を受けます。最近では、パソコンだけでなく、スマートフォンなどでもご覧頂けるようになります。よく皆さんインターネットエクスプローラなどのブラウザというソフトで、情報を見ているのです。子供さんやお孫さんなど、

現代は、正にIT時代、企業や団体、個人 etc ホームページが林立している。

今

インターネットをご利用しておられる方に、「東京天草郷友会」と「検索」してもらつてください。東京天草郷友会のホームページでは、会に関する最新の情報や、天草の情報(天草の現在の天気も判る等)などを随時掲載しておりますので、大変便利です。また会員同士の情報交換の場もありますので、楽しい世界が広がります。東京の天草郷友会の会員の皆さんとだけでなく、ふるさと天草との情報交流を含めて、可能性が広がりますので、まだインターネットをご利用でない皆様も是非チャレンジをお願いします。ボケ防止になるかも知れません?、よろしくお願いします。

(管理人 康志)



## 「平成25年度東京天草郷友会役員」一覧表

| 役職                 |           |       | 役職  |         |                        | 部門    | 部長        |       | アドバイザー  | 副部長     |           |     |
|--------------------|-----------|-------|-----|---------|------------------------|-------|-----------|-------|---------|---------|-----------|-----|
| 会 長                | 藤川 博祥     | 新 和   | 相談役 | 新 日 出 雄 | 本 渡                    | 財務部   | 吉田 真一     | 栖 本   | 荒木 十五郎  | 御所浦     | 赤石 洋子     | 本 渡 |
| 副 会 長              | 荒木 親洋     | 五 和   |     | 岩崎 八 男  | 五 和                    |       |           |       |         | 出口 定敏   | 姫 戸       |     |
|                    | 柴田 治 美    | 苔 北   |     | 鳥羽瀬 正 一 | 五 和                    |       |           |       |         | 田中 盛正   | 御所浦       |     |
| 幹 事 長              | 行山 千鶴 香   | 五 和   |     | 園 田 峰 生 | 本 渡                    |       |           |       |         | 山下 勝正   | 松 島       |     |
|                    | 西 田 勝 年   | 苔 北   | 顧 問 | 松 浦 富 夫 | 関 東 上 天 草<br>ふ る さ と 会 |       |           |       |         | 西 末 光   | 五 和       |     |
| 幹 事 長 代 行          | 川 原 利 之   | 天 草   |     | 竹 森 要   | 東 京 天 草<br>町 人 会       | 事業部   | 寺 平 末 廣   | 河 浦   | 赤 城 一 德 | 有 明     | 船 元 俊 之   | 新 和 |
| 副 幹 事 長            | 本 田 治 幸   | 姫 戸   |     | 園 田 達 彦 | 関 東 ふ る さ と<br>新 和 会   | 広 報 部 | 緒 方 輝 男   | 龍 ケ 岳 | 今 福 幸 春 | 有 明     | 勝 木 隆     | 栖 本 |
|                    | 上 田 幸 穂   | 天 草   |     | 富 永 英 六 | 東 京<br>河 浦 会           |       |           |       |         | 志 茂 豊 子 | 松 島       |     |
| 会 計                | 天 羽 幾 世   | 御 所 浦 |     | 川 口 雄 二 | 東 京<br>大 江 会           | 組 織 部 | 村 田 文 裕   | 御 所 浦 | 助 村 隆 典 | 新 和     | 小 山 康 志   | 新 和 |
| 事 務 局 長            | 坂 川 武     | 龍 ケ 岳 |     | 渡 辺 和 則 | 東 京<br>佐 伊 津 会         | 女性 部  | 内 田 由 美 子 | 姫 戸   | 加 藤 昭 子 | 苔 北     | 長 谷 場 亮 委 | 牛 深 |
| 事 務 局              | 船 元 益 美   | 新 和   |     |         |                        |       |           |       |         | 緒 方 孝 子 | 本 渡       |     |
| 天 草 担 当<br>(事務局次長) | 中 井 詔 太 郎 | 五 和   |     |         |                        |       |           |       |         | 伊 藤 博 通 | 本 渡       |     |
| 天 草 担 当<br>(事務局次長) | 北 辻 進     | 本 渡   |     |         |                        |       |           |       |         | 釜 崎 初 女 | 五 和       |     |
| 会 計 監 査            | 段 下 正 志   | 龍 ケ 岳 |     |         |                        |       |           |       |         | 中 原 栄 子 | 牛 深       |     |
|                    | 尾 田 為 人   | 新 和   |     |         |                        |       |           |       |         | 岩 崎 勝 美 | 河 浦       |     |
|                    |           |       |     |         |                        |       |           |       |         | 大 梶 輝 子 | 御 所 浦     |     |

### 幹事

|           |     |           |     |           |       |           |       |           |     |           |     |
|-----------|-----|-----------|-----|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-----|-----------|-----|
| 田 河 豊 通   | 河 浦 | 西 田 喜 志 生 | 牛 深 | 原 田 幸 德   | 本 渡   | 連 川 弘 二   | 大 矢 野 | 砂 岡 俊 宏   | 有 明 | 湯 澤 泰 彦   | 新 和 |
| 平 山 敏 明   | 新 和 | 稻 田 彰 典   | 倉 岳 | 山 本 広 夫   | 松 島   | 田 尻 鉄 矢   | 五 和   | 小 崎 智 富   | 有 明 | 大 江 芳 子   | 天 草 |
| 高 木 敏 也   | 苔 北 | 松 山 英 文   | 天 草 | 富 山 訓 全   | 御 所 浦 | 谷 山 弘 行   | 新 和   | 大 田 勝 美   | 新 和 | 山 下 博 行   | 本 渡 |
| 倉 田 蕃 造   | 河 浦 | 井 上 勉     | 姫 戸 | 内 野 多 恵   | 大 矢 野 | 久 保 内 聰 子 | 栖 本   | 伊 藤 裕 子   | 五 和 | 松 村 潤 乃 輔 | 松 島 |
| 清 原 桂 典   | 五 和 | 浜 下 則 明   | 牛 深 | 岩 井 美 佐 子 | 御 所 浦 | 北 内 寿 夫   | 本 渡   | 津 田 志 保 子 | 苔 北 |           |     |
| 野 田 と し こ | 本 渡 | 松 本 巧     | 新 和 | 山 下 順 子   | 新 和   | 中 村 加 津 枝 | 苔 北   | 松 尾 勝 志   | 新 和 |           |     |

前期役員の皆様、ご苦労さまでした。今後もご指導、ご提言をお願い致します。

## 平成25年度 関東天草ふるさと地域連絡協議会の連絡先

| 地域名            | 会長・幹事長事務局<br>(長)等連絡先 | 氏 名       | 電 話          | 総会開催日及び主な事業   |
|----------------|----------------------|-----------|--------------|---|
| 東京天草<br>郷友会    | 会 長                  | 藤 川 博 祥   | 045-592-5075 | ・H25/1/20・21「親睦バス旅行」  |
|                | 事 務 局 長<br>(地連協担当)   | 坂 川 武     | 03-3686-3889 | ・H25/4/14 総会 スクワール麹町  |
|                | 事 務 局 (船元)           |           | 045-620-0426 | ・H25/6/6「ふるさと天草対抗ゴルフ大会」   |
|                | 藤 川 工 務 店            |           | 045-592-5075 | ・H25/7/28「夏休みファミリー海の家」<br>・H25/11/11「親睦ゴルフ大会」<br>・H26/1/26・27「親睦バス旅行」                   |
| 関東ふるさと<br>栖本会  | 会 長                  | 吉 田 真 一   | 044-987-0071 | ・H25/10/13 総会 グリーンパーク (上野公園内)   |
|                | 事 務 局 長              | 緒 方 清     | 03-3690-2480 |   |
| 東京<br>牛深会      | 会 長                  | 下 川 洋 子   | 044-411-2892 | ・H25/10/26 総会 グランドアーク半蔵門  |
|                | 事 務 局 長              | 福 本 康 治   | 03-3432-6586 |   |
| 関東ふるさと<br>新和会  | 会 長                  | 園 田 達 彦   | 0422-34-3488 | ・H25/3/31 総会アルカディア市ヶ谷   |
|                | 事 務 局 長              | 船 元 俊 之   | 045-591-9250 | ・H25/5/12 地引網三浦海岸 (河浦会と共に)<br>・H25/11/17 歩こう会 (武藏野公園~深大寺)<br>・H25/12/8 餅つき大会 (横浜市藤川工務店) |
| 東京河浦会          | 会 長                  | 富 永 英 六   | 043-246-9846 | ・H25/9/8 総会ふるさとの集い主婦会館  |
|                | 事 務 局 長              | 友 山 重 則   | 0467-82-0631 | ・H25/5/12 地引網三浦海岸 (新和会と共に)  |
| 東京五和会          | 会 長                  | 荒 木 親 洋   | 0471-59-6626 | ・H25/6/9 総会赤坂ニューオータニ  |
|                | 幹 事 長 代 行            | 山 本 忠 義   | 044-433-8000 |   |
| 関東ふるさと<br>苔北会  | 会 長                  | 西 田 勝 年   | 045-921-2047 | ・H25/11/24 総会東海大学校友会館 35F   |
|                | 事 勿 局 長              | 平 井 正 德   | 044-955-3483 |   |
| 東京天草<br>町人会    | 会 長                  | 竹 森 要     | 047-444-7962 | ・H25/11/10 総会 オーラム (御徒町)  |
|                | 幹 事 長                | 松 山 英 文   | 0423-96-1046 |   |
| 東京大江会          | 会 長                  | 川 口 雄 二   | 03-3726-4422 | ・H25/4/21 総会 グリーンパーク (上野公園内)  |
|                | 事 勿 局 長              | 深 池 末 德   | 047-385-8806 |   |
| 東京高浜会          | 会 長                  | 川 原 利 之   | 042-465-1726 | ・H25/6/16 総会ホテルグランドビル市ヶ谷  |
|                | 幹 事 長                | 上 田 幸 穂   | 047-430-3172 |   |
| 関東御所浦会         | 会 長                  | 荒 木 十 五 朗 | 042-453-0029 | ・H25/10/20 総会ホテルモントレ半蔵門   |
|                | 事 勿 局 長              | 田 中 盛 正   | 046-241-9490 |   |
| 東京佐伊津会         | 会 長                  | 渡 邊 和 則   | 042-666-1433 | ・H25/3/24 総会アルカディア市ヶ谷   |
|                | 事 勿 局 長              |           |              |   |
| 東京本渡会          | 会 長                  | 新 日 出 雄   | 03-3316-5400 | ・H25/5/26 総会アルカディア市ヶ谷   |
|                | 事 勿 局 長              | 平 田 俊 清   | 046-232-5942 | ・H25/10/18 秋のゴルフ大会<br>・H26/5/18 総会アルカディア市ヶ谷   |
| 関東有明会          | 会 長                  | 今 福 幸 春   | 046-873-5344 | ・H25/3/23 総会東海大学校友会館 35F  |
|                | 事 勉 局 長              | 高 戸 三 幸   | 042-982-0954 |   |
| 関東上天草<br>ふるさと会 | 会 長                  | 松 浦 富 夫   | 048-781-3761 | ・H25/6/29 総会ホテルグランドビル市ヶ谷  |
|                | 幹 事 長                | 福 田 勇 至   | 03-5963-8373 |   |

## 広報部だより

「高温注意情報」が飛び交い「経験したことのないような酷暑？」を、3回目の仮設住宅で過ごされた皆様に思いをはせつつ、会報97号を発行に漕ぎ着けました。

前号の紙面で、一期二年の役務終了のご挨拶を申し上げた処ですが、ご案内のように、去る4月14日の総会において、

藤川博祥会長が再任されました。会長より現役員は基本的に留任、広報部員も100号発行？まで同様のことでした。部員の力不足を、十分ご理解ご認識のうえ、一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

「東京天草郷友会」では、定例の総会を始め、親睦となる各種行事を展開致しております。しかし、ご都合によりどの場にも参加できなかつた「会員の方々への、情報の提供・交換・交流のツールが会報」であると、認識を新たに致したところです。100号発行まで、企画・編集に気持ちは新たに務める所存です。重ねて、ご協力ご指導をお願い致します。

H.P.の運用も軌道に乗り、沢山の訪問者が訪れております。即効性のある、臨場感溢れる情報が満載です。紙系の会報と合わせ、会の情報発信のツールと致します。

最後に、会報の財源は、皆様の広告掲載の御協力で発行致しております。今回も、沢山の方から広告掲載のご協力を頂きました。従前からの広告掲載企業・個人広告掲載者の皆様に加えて、新規にご賛同頂いた方々に、紙面をお借りし、心よりお礼申し上げます。

(2013・8 広報部一同)

## あとがき

お盆ウイークが過ぎた、古里天草の墓は全体的に小高い丘にあり、一様に海に向いている。「盆がえり」をした会員の方も、しなかつた者にも、先祖を想う一時を過ごした一週間だった。季節は移ろい、そろそろ皆平等に「暦の上だけではない秋」を、頬の涼しい風で感じている頃である。

同窓会の名簿を探していたら、くすんだ古いノートの日記帳が出てきた。自他ともに認める「おうちやくもん」の割に、14歳の時から途切れ途切れにも、日記帳を書いている。多分中学2年の時、熊本市から赴任されたモダンガールと言われた? 国語の先生の影響と思われる。

ページの間に泉下の母からの手紙が挟んである、35年前の8月20日付けとある。勿論、内容はすっかり忘れていた。読むとお盆も過ぎ、老母が段々畑で栽培した夏野菜を送つてくれた、荷物に入つていたものらしい。手紙には、毎日の暮らしぶり、天草のお盆の様子、帰省した近所の知人名が脈々と綴られている。最後の何行だろう突然全部、ひらがなになつて、「むねくん」と一度会いたいと思った。

日記帳の端に見飽きた下手な字で  
：古里の 老いたる母よりくれし文  
譯字数あれど 我が心打つ：  
と駄文が記してある。  
(輝)

真つ盛りの時代、あの頃からかなあ、お盆に墓参りに行かなくなつたのはー。寡黙な母が幼い孫に宛てて書いた文字には誤字があつたが、急に涙が零れそうになつた。99歳の長寿を全うし、もう7回忌も過ぎた。私も既に、黄泉の国からの招待状を受け取りながら、つい?返事を書きそびれている身になり、老母の気持ちは痛いほどわかる。

小高い丘から不知火海を見ている墓で、泉下の先祖たちの声が聞こえた気がした。今年の盆も、墓に「げんぞ」にこんだつたかい、生まれ育つた「天草と先祖ば忘れんごつせんばなー」。天草はよかとこぞ、何ちゅうたつて海と山の自然がよかと、勿論一番よかとは住んでる人たい。世界文化遺産になるかも知れん? 子にも孫にもそして、曾孫にも教えとかんば夕方仏壇に向かい手遅れとは承知で一人手を合わせた。

突然、不知火海の潮風で焼かれた、色黒で皺くぢやだらけの小さな母の顔に、もう一度会いたいと思った。

突然、不知火海の潮風で焼かれた、色黒で皺くぢやだらけの小さな母の顔に、もう一度会いたいと思った。

(輝)



### 会報「あまくさ」の発行賛助寄付者

会報の発行経費を支援していただきました!

|                    |                |
|--------------------|----------------|
| 段下 正志 (龍ヶ岳)        | 田尻 鉄矢 (五和)     |
| 千代田区飯田橋3-2-10-206  | 行政書士           |
| 川崎市宮前区大蔵2-26-1-410 | 関東上天草ふるさと会会長代行 |
| 板橋区徳丸6-1-5-10      | 出口 定敏 (姫戸)     |
| 社会保険労務士段下正志事務所     |                |

表紙の写真について

不動神社は、別名「投筆神社」とも言っている。その昔、弘法大師がこの地を訪られ、大岩にお経を書きかけた。芦北へ向かう船の上で、ふと書いたお経のうちの一字に「へ」を付け忘れたことに気が付かれ、岩に向かって筆を投げられたそうである。以来この付近一帯を投筆と呼ぶようになった。不動明王をお祭りする現代では、赤ちゃんの泣き相撲などが奉納される。古くは、船団の海上パレード等行われた。(下桶川不動神社祭)として例祭は盛夏旧暦6月28日(今年は新暦8月4日)(日)に行われた。行われる。

## 天草のお困りごと 心配ごと承ります!

天草に帰省するので  
実家を掃除してほしい…など  
お掃除全般のご相談

サービススマスター天草店  
0969-25-1355

実家の両親が心配、  
様子を見てきてほしい…など  
身体介助や介護用品のご相談

ヘルスレンタ天草ステーション  
0969-24-4880  
ホームインステッド天草ステーション  
0969-24-4880

新和観光センター

代表 藤川 公則



新和観光センター  
〒863-0018 熊本県天草市浜崎町7-24  
■諸浦港 TEL:0966-86-0810 ■中田港 TEL:0969-46-2232  
■片瀬港 TEL:0966-89-3375  
〒863-0101  
熊本県天草市新和町  
小宮地8918-1  
TEL:0969-46-2232  
FAX:0969-46-2233

残暑見舞い申し上げます。